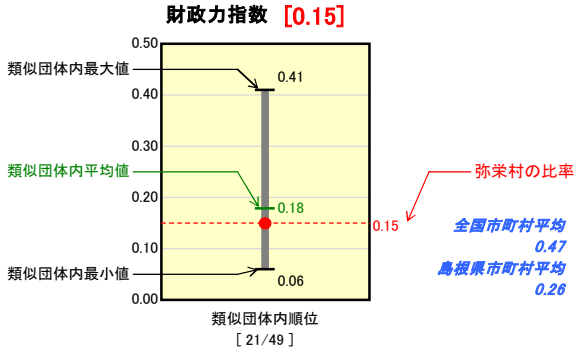


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

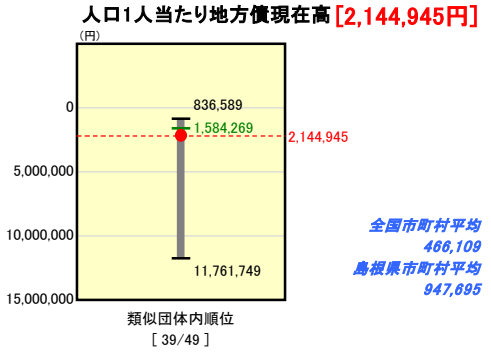
島根県 弥栄村

人口	1,700人(H17.3.31現在)
面積	105.50 km ²
歳入総額	2,199,006 千円
歳出総額	2,108,263 千円
実質収支	48,038 千円

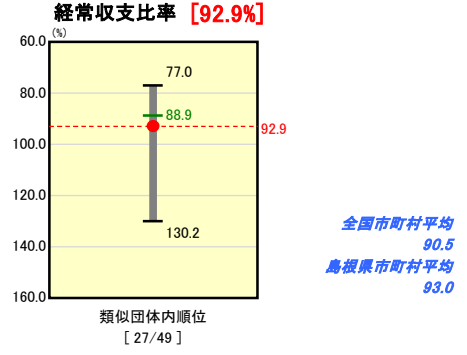
財政力



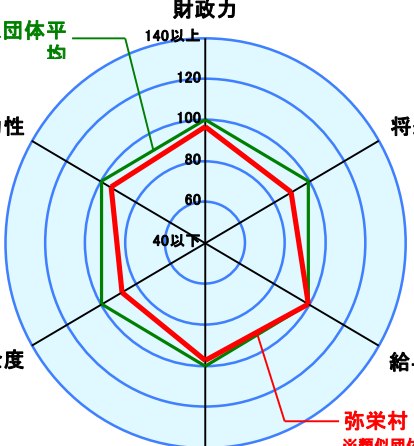
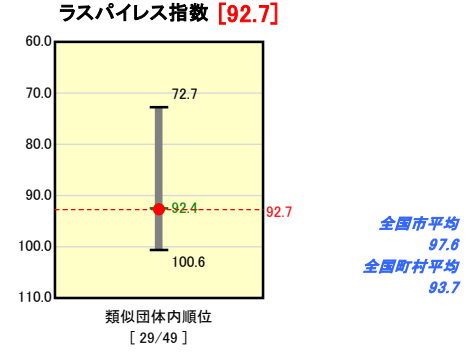
将来負担の健全度



財政構造の弾力性

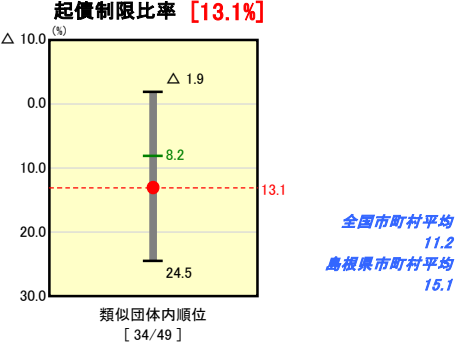


給与水準の適正度(国との比較)

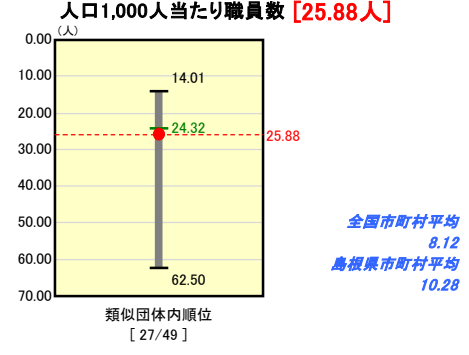


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

【財政力指数】
農林業主体の本村にとって人口の減少、高齢化、法人村民税がほとんどない状況の中で、送電施設償却資産の課税標準の特例措置がなくなり基準財政収入額が増ったため指数が若干伸びたが、類似団体平均より下回っている。

【経常収支比率】
地方交付税の削減の影響により前年度に比べ9.5ポイント上昇し、類似団体を上回っている。この大きな理由として、①公立保育所2ヶ所について、保育所措置費国県負担金の一般財源化されたこと及び普通交付税総額が減少したこと②普通建設事業費の減少に伴い事業費支弁人件費が減少したことがあげられる。今後更なる義務的経費の削減に努める。

【起債制限比率】
農業振興、道路整備等における起債の比重が大きくなり比率が上昇傾向にあり、統合小学校建設を控えていたため、平成14年度において繰上償還を行った結果改善したが、統合小学校建設も完了しこれの償還が始まるため、今後普通建設事業の縮小、更なる繰上げ償還等適切な起債管理を行う。

【人口1人当たり地方債現在高】
平成14年度・15年度に行なった小学校統合に伴う統合小学校建設関連事業の起債により、類似団体より大きく上回っている。農林業振興、小学校統合等大規模な事業はほぼ完了しており、地方債残高は減少に転じるものと思われる。

【ラスパイレス指数】
ここ数年95パーセント以下で推移してきたが、類似団体とほぼ同レベルにある。16年度までは公立保育所で運営してきたが、17年度より民営化することし、職員定数を6人減とした。今後も引き続き給与の適正化、職員定数管理に努める。

【人口1000人当たり職員数】
類似団体と比較すると1.56人多い。16年度までは公立保育所で運営してきたが、17年度より民営化することし、職員定数を6人減とした。